

伊豆諸島海域地殻変動監視観測（2005年）
GPS Observation for Monitoring Crustal Movements
in the Izu Shoto area in 2005

Summary – We have been carrying out a continuous GPS observation for monitoring crustal movements in the Izu Shoto area since 1990. This paper reports the results of the observation in 2005.

Key words : GPS - crustal movements

1. はじめに

海洋情報部では、地震予知に関する基礎資料を得るため、1990年より伊豆諸島海域においてGPS連続観測を実施している。

本報告では、2005年の解析結果について報告する。

2. 観測

伊豆大島灯台、真鶴消防団、横須賀験潮所、南伊豆験潮所、神津島験潮所、三宅島験潮所及び八丈島験潮所においてGPSの連続観測を実施した（図1参照）。データの収録間隔は30秒である。データはISDN回線を使用したダイヤルアップ方式により海洋情報部に転送した。

また、伊豆大島灯台においては9月7日からGPSアンテナの故障によるデータの欠測が生じ、9月13日に同局のアンテナ交換作業を実施した。このため、この前後のデータの連続性はない。

3. 成果

2005年1月～12月までの南伊豆験潮所を固定点とした各点までの斜距離、東西方向、南北方向及び高さ方向の変化を図2-(1)～(2)に示した。解析は、各点とも下里水路観測所本土基準点（H0、和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）を基準点としている。暦は精密暦（IGS暦）を使用した。

図3に、水平成分について、2005年1年間の南伊豆験潮所を基準とした変動ベクトル図を示す。各点の変動ベクトルは、2005年1月4日～13日の位置の平均及び2006年1月4日～13日の位置の平均の差より算出した。

南伊豆を固定した場合、横須賀・真鶴・三宅島・八丈島の4点は北～北東へ、伊豆大島は北西への動きをしており、神津島においては南西への動きとなっている。

伊豆諸島海域 G P S 測点図

図 1

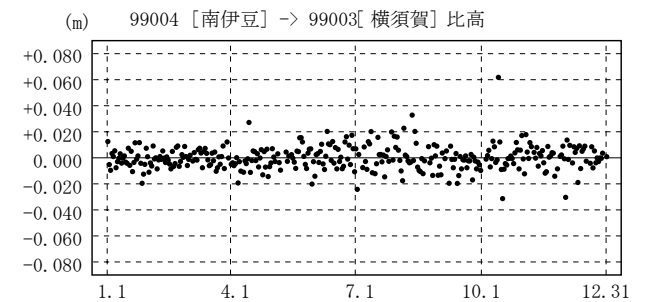
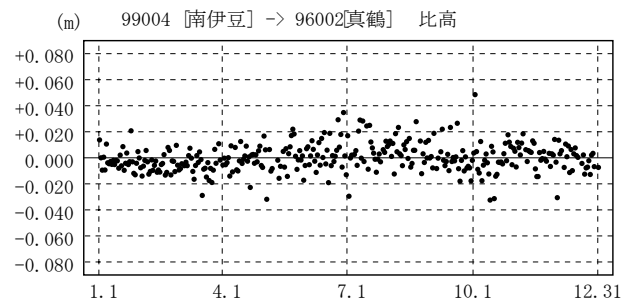
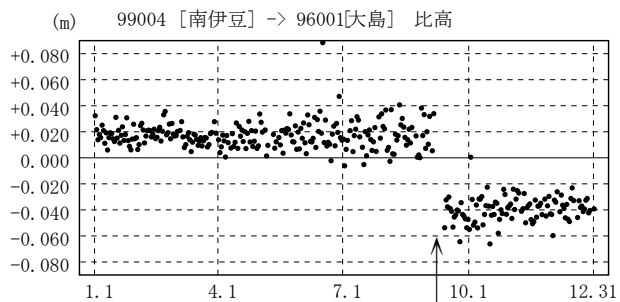
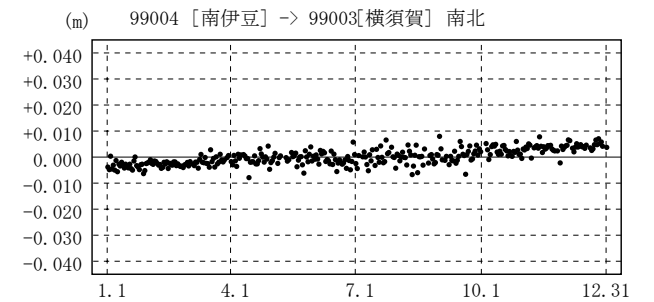
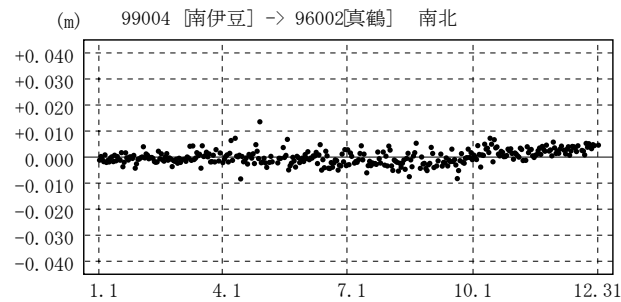
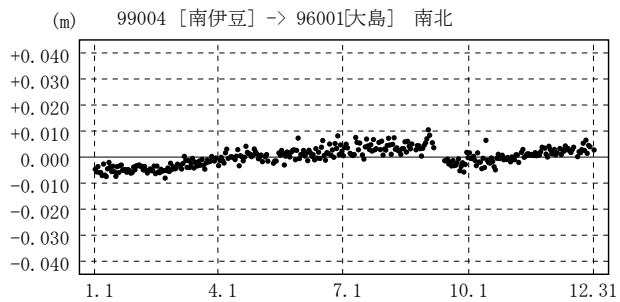
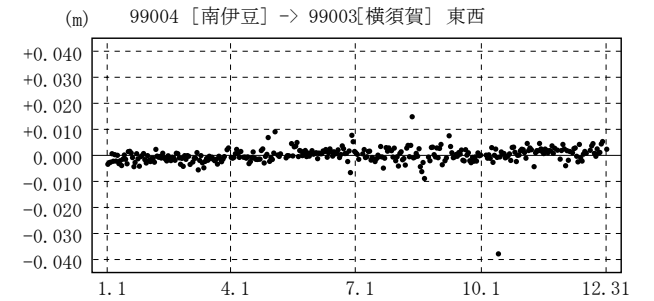
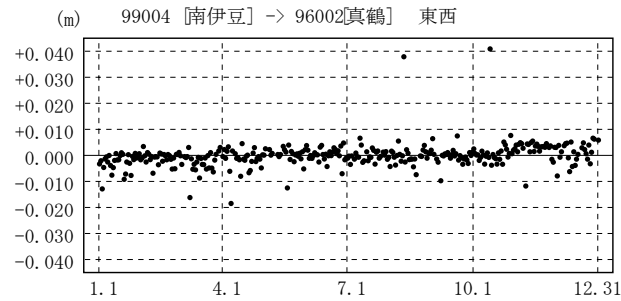
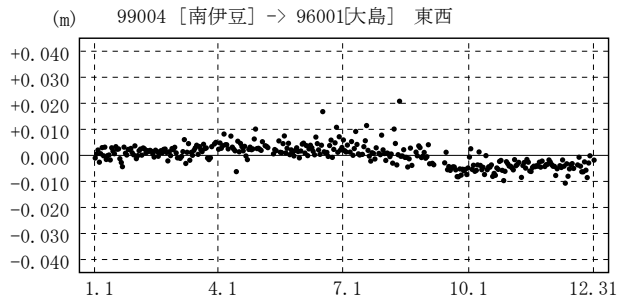
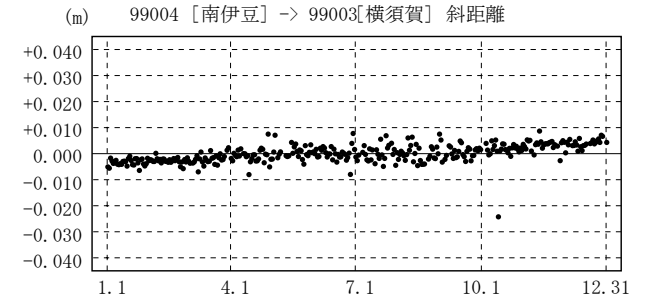
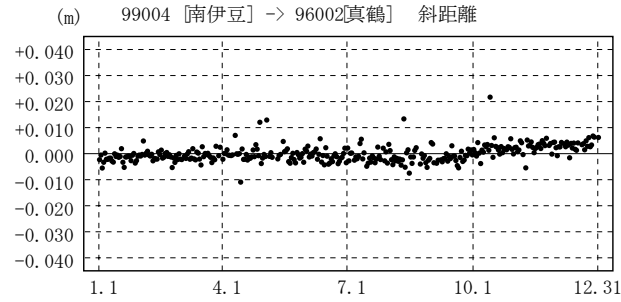
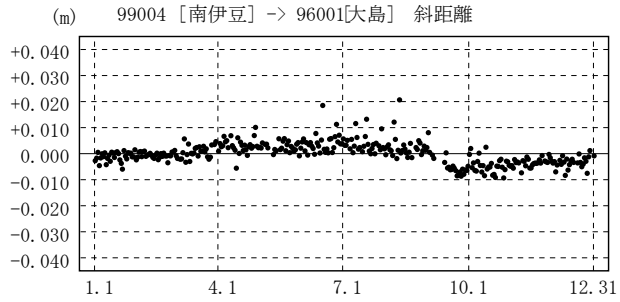


期間：2005年1月1日～2005年12月31日

座標系：WGS-84

時刻系：UTC

基線長変化グラフ



● --- Bernese[IGS暦]

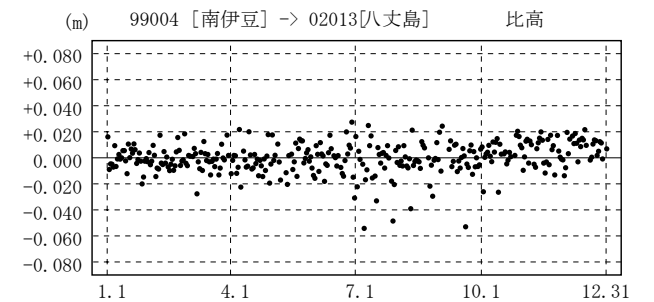
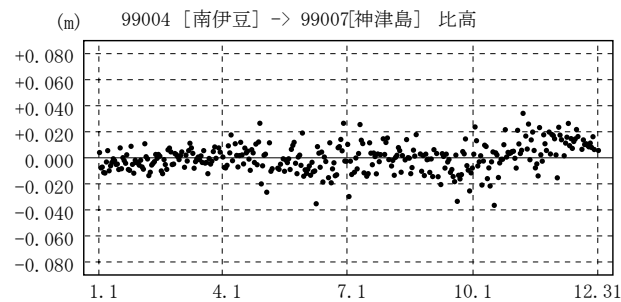
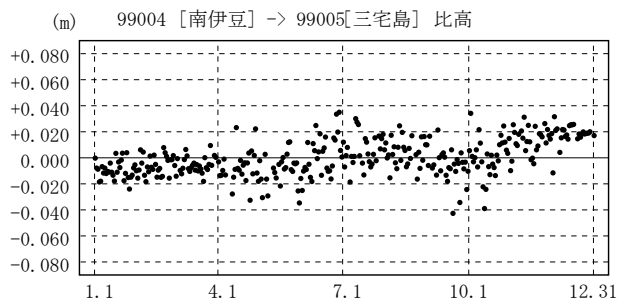
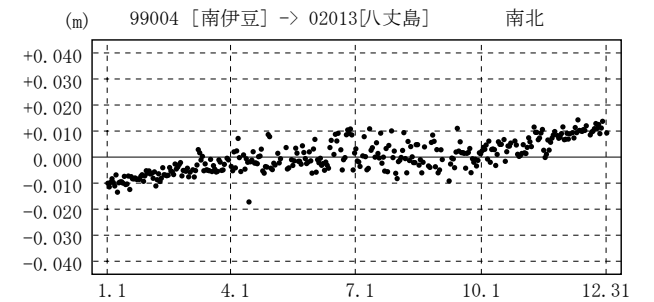
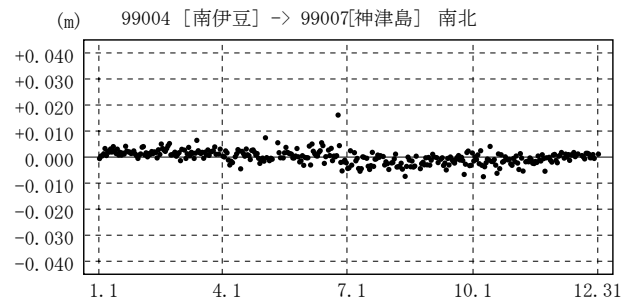
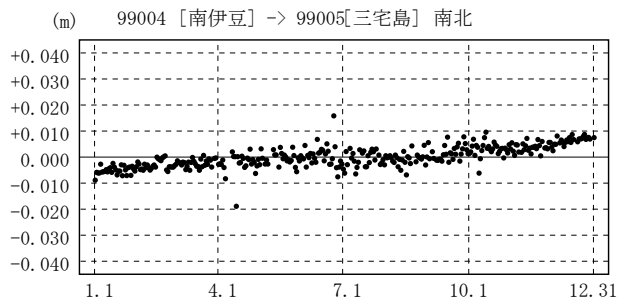
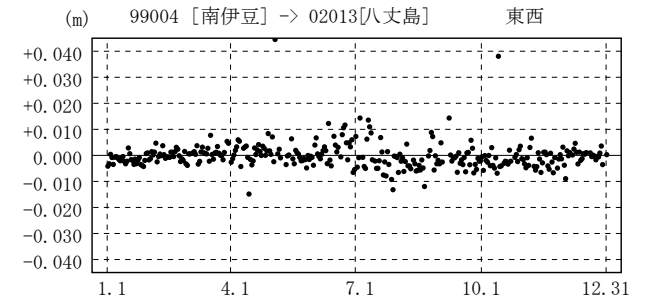
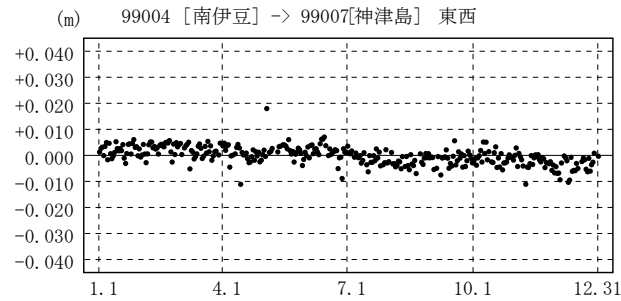
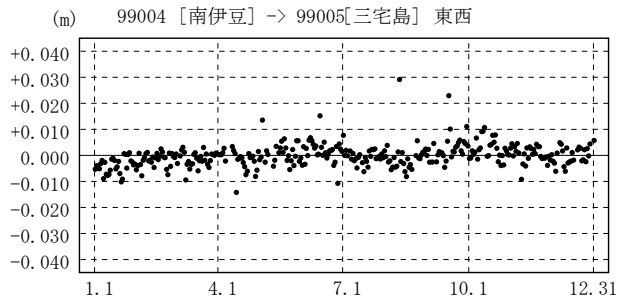
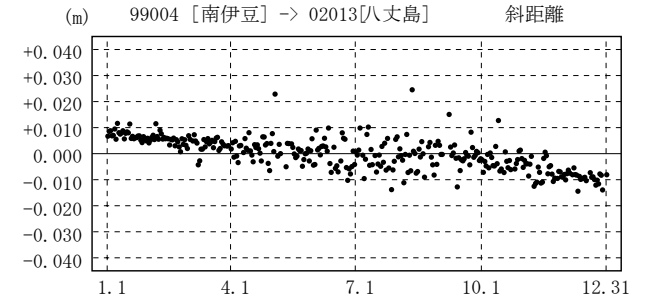
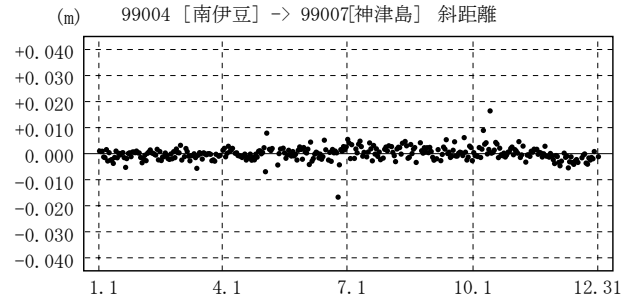
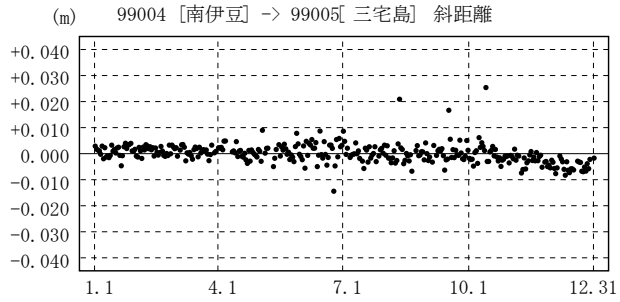
9.13アンテナ交換

期間:2005年1月1日 ~ 2005年12月31日

座標系: WGS-84

時刻系: UTC

基線長変化グラフ



● --- Bernese[IGS暦]

2005年の伊豆諸島海域水平方向ベクトル図

